

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【公開番号】特開 2019-162544 (P2019-162544A)  
【公開日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)  
【年通号数】公開・登録公報 2019-039  
【出願番号】特願 2019-125344 (P2019-125344)  
【国際特許分類】

A 4 7 C 4/04 (2006.01)

A 4 7 C 3/04 (2006.01)

【F I】

A 4 7 C 4/04 Z

A 4 7 C 3/04

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 23 日 (2020.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

左右方向に延びる支持フレームを脚部により支持してなる脚体と、  
枠体と、前記枠体に四方を囲まれた領域に設けられて着座面となるシート状部材と、を  
備え、左右方向に延びる軸を中心として回動可能に構成された座体と、  
前記座体における前記着座面となる側とは反対側に設けられ、左右方向に長さを有し、  
一端が前記枠体の左側部に連結され、他端が前記枠体の右側部に連結された位置決め部材  
であって、左右方向の中央部には前記シート状部材から間隔を開けた位置に配置される前  
後方向の幅を有する板状の部材を有し、該板状の部材が前記支持フレームに接触すること  
により、前記座体を着席可能な状態に位置決めする位置決め部材と、を備え、

前記シート状部材は、変形可能であり、

前記枠体は、表裏方向に重ねられた表側枠体と裏側枠体とを備え、

前記表側枠体には前記シート状部材が設けられており、前記裏側枠体には前記位置決め  
部材が設けられている

ことを特徴とするイス。

【請求項 2】

左右方向に延びる支持フレームを脚部により支持してなる脚体と、

枠体と、変形可能に構成され、前記枠体に四方を囲まれた領域に設けられて着座面とな  
るシート状部材と、を備え、左右方向に延びる軸を中心として回動可能に構成された座体  
と、

前記座体における前記着座面となる側とは反対側に設けられ、左右方向に長さを有し、  
前後方向に幅を有する一端が前記枠体の左側部に連結され、前後方向に幅を有する他端が  
前記枠体の右側部に連結された位置決め部材であって、左右方向の中央部には前記シート  
状部材から間隔を開けた位置に配置される前後方向の幅を有する板状の部材を有し、該板  
状の部材が前記支持フレームに接触することにより、前記座体を着席可能な状態に位置決  
めする位置決め部材と、を備える

ことを特徴とするイス。

【請求項 3】

左右方向に延びる支持フレームを脚部により支持してなる脚体と、  
枠体と、前記枠体に四方を囲まれた領域に設けられて着座面となるシート状部材と、を  
備え、左右方向に延びる軸を中心として回動可能に構成された座体と、  
前記座体における前記着座面となる側とは反対側に設けられ、左右方向に長さを有し、  
一端が前記枠体の左側部に連結され、他端が前記枠体の右側部に連結された位置決め部材  
であって、左右方向の中央部には前記シート状部材から間隔を開けた位置に配置される部  
材を有し、該部材が前記支持フレームに接触することにより、前記座体を着席可能な状態  
に位置決めする位置決め部材と、を備え、  
前記シート状部材は、変形可能であり、  
前記枠体は、表裏方向に重ねられた表側枠体と裏側枠体とを備え、  
前記表側枠体には前記シート状部材が設けられており、前記裏側枠体には前記位置決め  
部材が該裏側枠体と一体に設けられている  
ことを特徴とするイス。

【請求項 4】

左右方向に延びる支持フレームを脚部により支持してなる脚体と、  
枠体と、前記枠体に四方を囲まれた領域に設けられて着座面となるシート状部材と、を  
備え、左右方向に延びる軸を中心として回動可能に構成された座体と、  
前記座体における前記着座面となる側とは反対側に設けられ、左右方向に長さを有し、  
一端が前記枠体の左側部に連結され、他端が前記枠体の右側部に連結された位置決め部材  
であって、左右方向の中央部には前記シート状部材から間隔を開けた位置に配置される前  
後方向の幅を有する板状の部材を有し、該板状の部材が前記支持フレームに接触すること  
により、前記座体を着席可能な状態に位置決めする位置決め部材と、を備え、  
前記シート状部材は、変形可能であり、  
前記枠体は、表裏方向に重ねられた表側枠体と裏側枠体とを備え、  
前記表側枠体には前記シート状部材が設けられており、前記裏側枠体には前記位置決め  
部材が設けられており、  
前記位置決め部材は、前記裏側枠体から左右方向内側に向けて傾斜するように突出して  
おり、該座体の左右外側面よりも内側となる位置において前記支持フレームと接触するよ  
うに構成されている  
ことを特徴とするイス。

【請求項 5】

左右方向に延びる支持フレームを脚部により支持してなる脚体と、  
枠体と、前記枠体に四方を囲まれた領域に設けられて着座面となるシート状部材と、を  
備え、左右方向に延びる軸を中心として回動可能に構成された座体と、  
前記座体における前記着座面となる側とは反対側に設けられ、左右方向に長さを有し、  
一端が前記枠体の左側部に連結され、他端が前記枠体の右側部に連結された位置決め部材  
であって、左右方向の中央部には前記シート状部材から間隔を開けた位置に配置される前  
後方向の幅を有する板状の部材を有し、該板状の部材が前記支持フレームに接触すること  
により、前記座体を着席可能な状態に位置決めする位置決め部材と、を備え、  
前記シート状部材は、変形可能であり、  
前記枠体は、表裏方向に重ねられた表側枠体と裏側枠体とを備え、  
前記表側枠体には前記シート状部材が設けられており、前記裏側枠体には前記位置決め  
部材が設けられており、  
前記位置決め部材は、前後方向の幅が先端に向けて狭くなる形状となっている  
ことを特徴とするイス。